E-room

日程変更規定・返金規定

【出発前日程変更規定】(申込日より適用)

- ・留学開始の 2 週間前まで無料で変更可能。2 週間を切ったからのリクエストは費用 1 万円を頂戴します。
- ・変更可能な期間は、当初の留学開始予定日より 1 年後まで変更可能です。
- ・変更可能回数は原則 1 回のみとなります。

『出発前返金規定』(振込確認後より適用)

- ・留学プログラム開始日の 15 日前までにキャンセルされた場合のキャンセル料 15,000 円
- ・留学プログラム開始日の 14 日前から前日までにキャンセルされた場合のキャンセル料 30,000 円

※代理店から弊社へのお支払は全額一括にて出発日の 14 日前を目安とする
(間際の申込や、出発日の 14 日前が月末に被る場合は前後いたします)

『出発後(=出発当日含む)返金規定』

1. 受講申請の全期間の 25%以内の時点で払い戻しを申請した場合、月単位で計算して、修業した週を除いた金額の授業料と寮の費用の 50%が返金されます。
2. 受講申請の全期間の 50%以内の時点で払い戻しを申請した場合、月単位で計算して、修業した週を除いた金額の授業料と寮の費用の 20%が返金されます。
3. また、受講申請の全期間の 50%を過ぎた場合の払い戻しはございません。

- 1) 留学開始後、留学期間を問わず入学金と SSP の払い戻しはございません。
- 2) 払い戻しを申請した週は、払い戻し期間には含まれません。
- 3) 学校規定違反によって退学になった場合は、払い戻しの対象となりません。
- 4) いかなる場合でも他人に留学期間を譲渡することはできません。

- 天災地変、戦乱、運送・学校等の事故、運送機関の遅延、スケジュール変更、その他不可抗力の事由により生じた損害に対しては学校は責任を負いません。

- 外出時に発生したトラブル及び人命被害に対して学校は責任を負いません。

- 学校の休日はフィリピン国内法で指定した休日に従って、フィリピンの祝日及び休日には授業は開講されず、これに対する返済はありません。ただし、休日が多く重なる月には補講が実施される場合もあります。

- 学校の運営上、始業日及びプログラムが変更される場合があります。

- 学校の規定違反により罰則が実施され、罰則に伴う警告累積、飲酒、騒乱、暴力などで就学環境を侵害した場合、学校の判断により退学処分となります。

- 留学開始後の払い戻しの要求は生徒が必ず学校所定の書類に記入し、書面で解約を申し込まなければなりません。払い戻しの申し込み受付及び確認後、返金が生じる場合、学校→日本代表事務所→申込代理店へ返金となりますので、ご本人へのご返金は申込代理店を介することとなります。